

16坪という狭小地の悩みを 立体的な活用で見事に解決。

個室を増やすために
住まいを全面的に改修。

都市の住まいには「狭小地」の悩みはつきもの。限られた空間をいかに効率的に活用するか。その答えがここにあります。S様のお宅は幹線道路近くに建つ築35年、16坪の木造2階建。ここにおばあさまを含めた5人で暮らしています。娘さんが個室をほしいというので、今回部屋数を増やすことに。そこでとられた解決策は建物を立体的に活用することでした。

ていました。そこでまず基礎から見直し、耐震補強を施し、強い住まいを再構築、そこに4つのお部屋をバランスよく配置。特に2階は天井をはずし、梁を露出させることで階高3mを確保。余裕の生まれた天井高に各室ともロフトを組み込み、そこを収納スペースとしました。キッチンと1階のお部屋には床下収納庫を設け、空間を無駄なく利用しています。また今回バルコラスペースも拡充。これまでおばあさまが不自由していた洗濯干しの悩みも解消しました。

2階全居室には天井高を生かし、収納力を高めるロフトを設置。
これまではトラックが通るたびに家が揺れるなど不安を抱えていました。

約50日の仮住まいから解放されて新たな住まいを目にしたS様ご一家は「明るく広くなり、想像以上の仕上がり、とても満足」と感想を述べていらっしゃいます。



1



3



2



4



5



6



7



Before A



Before B



Before C



Before D

●工事中。柱組みの様子。

●既存の建物外観

●工事中。断熱材を敷き込む様子。

●工事中。バルコダ増設部分。



8



9

- 1 鮮やかな面材が印象的なキッチン。床には電気式床暖房が設置されています。ここにももちろん床下収納庫が。
- 2 2階の子供部屋。隣り合わせの部屋とは将来の変化に備え、壁を抜くこともできます。
- 3 幅をワイドにし、使いやすくなったバルコダ。
- 4 2階主寝室に設けられたロフト。充分な収納力があります。
- 5 ロフトに上るには持ち運び式の梯子で。使わないときは収納しておきます。
- 6 1階おばあさまの部屋には床下収納庫も設けました。
- 7 外装・外構も一新し、美しく甦りました。
- 8 2階主寝室。天井高3m、梁を露出させることで、開放感を演出。空間にアクセントもつけています。
- 9 機能性にすぐれたシステムバスを採用。TOTOバスピア。



Reform ペスト事例